

学校運営計画 (4月)				評価 (3月)	
<b>学校運営方針</b>		教育基本法並びに学校教育法の理念に則り、生徒一人ひとりを大切にするとともに、学校集団としての連帯感を高め、社会性を育む教育をとおして心豊かな人間形成を目指し、 <b>組織的・計画的な教育活動を展開する。</b> 「鍛えて、ほめて、生徒の可能性を伸ばし、明るく元氣な学校、専門学科としてのスペシャリストの育成」実現に向け、「『目指す学びがそこにある！』〜チーム筑水〜」として、①「あなたの志(おもい)に応えます」、②「あなたを鍛えて伸ばします」、③「あなたを立派に育てます」の3つの取組を実践する。			
昨年度の成果と課題		年度重点目標	具体的目標		
○成果 1 生徒の実態に合わせた授業内容の工夫と改善が進み、学習意欲と授業規律の向上が図られた。 2 挨拶、時間厳守など基本的な生活習慣が確立され、マナーアップが図られた。 3 希望進路の多様化に対応できる進路指導を確立し、卒業生全員の進路決定を目指す基盤づくりができた。 4 ホームページ・学校案内の全面改定、全教職員による広報活動により、入学志願者倍率が上がり入学志願者定員割れが解消できた。  ○課題 1 更なる広報活動の見直しにより入学志願倍率の向上を図る。 2 中途退学者ゼロに向けた取組を強化する。 3 生徒が変えた様々な課題に対応できるように、教育相談体制を充実する。 4 部活動の加入率を上げ、学校活性化を図る。		○学習環境を整え、基礎学力の定着をはかり、社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上を目指す。 (あなたの志に応えます)	・基礎学力の定着と学習意欲及び実践力の向上に向け、「主体的・対話的で深い学び」を導入するなど、授業の工夫改善及びきめ細かい指導を行う。 ・1時間の授業を大切に生徒の理解度を確認し、学習目標の明確化により、能力に応じた規律ある授業展開と、確かな学力の育成を図る。 ・各学科等の特色を生かした資格取得やコンテスト・各種競技等の指導を充実し、キャリアアップを図る。 ・美化活動を徹底し、授業に取り組む学習環境と安全・安心な学校環境を整える。 ・3年間の継続的・組織的な指導体制のもと、効果的な現場実習や外部人材を活用して生徒の進路意識の高揚を図る。 ・各学科において、将来のスペシャリストにふさわしい専門知識と技能を身につけさせるとともに、勤労観と職業観を育成する。 ・生徒の進路決定100%の実現に向け、生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導と、全職員による企業及び大学等への訪問を行う。		
		○農業・福祉・調理の専門分野におけるスペシャリストを育成するため、キャリア教育の充実を図り、希望進路の100%実現を目指す。 (あなたを鍛えて伸ばします)	・挨拶、時間厳守、礼儀作法、掃除、頭髪・服装等のマナーアップの指導を全職員で徹底する。 ・部活動を活性化し、生徒の能力に応じた技能や記録の向上を図り、豊かな学校生活の場とする。 ・全教科・領域、学校行事、ボランティア活動において、自尊感情の育成、自律心と思いやりのある心の育成を図り、いじめの撲滅と人権意識の高揚に努める。 ・担任、学年、学科相互の情報共有を図り、スクールカウンセラーや保護者等との連携がとれた教育相談体制のもと、中途退学者ゼロを目指す。		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価 (3月)	次年度の主な課題	
教務	社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上を目指す	「主体的・対話的で深い学び」の実践を深める 習熟度別・少人数授業の充実を図る 大学進学に対応できる学力の育成に向けた体制を作る 評価の改善、観点別評価の導入を行う			
	授業改善のために、授業内容等の見直しを図る	教務内規の見直しを図る 情報処理室・視聴覚教室等・電子黒板等、教育設備の整備と有効活用を図る 教科担当者等において、生徒の情報等を共有し授業改善につなげる 生徒の欠席・遅刻の統計を取り、欠席遅刻が多い生徒の指導を行う 授業規律の確立と学習環境の整備を図る			
企画庶務	各部、各課との連絡調整を行い、円滑な公務運営に努める	各行事の円滑かつ組織的な連絡調整を行う。 公簿・資料作成を円滑に行う。 学校防災の実施			
	PTA、同窓会と連携し、地域に根ざした教育活動を推進する	同窓会事務局との連携を行う。 PTA活動の推進を行う。			
生徒指導	広報活動の推進	築水通信の充実と円滑化を図る。 各種行事の記録を行う。			
	基本的生活習慣の確立と維持	学年・学科と連携し、服装指導の徹底 全校集会・終礼等の活用 問題行動への迅速対応			
	生徒会活動の活性化	部活動紹介などにより新入生の部活動加入率を高める 各種委員会活動の定例化を推進し自主的活動を促す			
	教育相談の充実	各学年及び関係部署との情報共有と協力体制の確立 個性を重視した細かい対応と関係機関との連携の推進 いじめ問題への早期発見と対応に努める			
保健	安全教育の徹底	自転車・バイク実技講習の充実 SDE講習会の実施 登校指導の充実			
	生徒の健康安全に対する意識の向上	保健委員会による健康安全に関する啓発活動と保健だよりの充実を図る。 健康診断や学校行事における事前健康調査を実施し、個別指導につなげる。 生徒の衛生面、安全面の管理を徹底し、学習環境を整える。			
	学習環境の整備・美しい学校づくり	美化コンクールを継続的に実施し、校内の美化意識を高める。 美化委員会による校内美化活動やゴミ減量化に向けての啓発活動を行う。 ゴミ減量化に向けて各教室やトイレ等に啓発ポスターや新聞などを掲示する。また、ゴミに関する研究を行い、文化祭等で発表できるように準備する。			
教育相談・特別支援教育の体制作り	面談週間や生活アンケートにより、いじめ等の早期発見・早期対応に努める。また、スクールカウンセラー等を最大限に活用し、相談できる体制を確立する。 サポートヒントシートを活用するなど生徒理解に努めると共に、関係職員と情報を共有し、支援の検討ができるように対象生徒に関わっている職員への勉強会等を行い、支援についての共通理解を図る。				

## 平成30年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
進路指導	「生徒に考えさせる進路指導」をテーマとし、各学年の進路学習の流れの再構築を行う	各学年における進路学習HR内容の再構築を行う。 進路行事を系統的に繋がるように実施する。 進路学習HRに「進路の手引」を活用する。		
	他分掌と連携し「凡事徹底」を行い、基本的な生活習慣を確立させる	受験カレンダーを活用し、提出書類等の期日を守らせる。 挨拶言葉遣いなどコミュニケーションをとる上で、当たり前のことがきちんとできるようにする。		
	担任・学科担当者と連携し、生徒理解に努め、ミスマッチのない進路指導を行う	就職希望生徒全員との面談を実施して、丁寧な指導を行う。 就職希望生徒全員に対する面接指導を実施する。		
	基礎学力の定着を図る企画を考える	学科の協力を得て企業訪問を行う。企業訪問計画を作成し実施する。 基礎学力テストを活用し、教科指導・生徒理解・三者面談に活用できるよう、研修会を企画する。 基礎学力テストのデータを蓄積し、進路指導に役立てられるものにする。		
広報	本校職員による中学校訪問	できる限り早期に中学校を訪問し、本校の体験入学や相談会などの行事の周知を図る。 学校案内パンフレットや広報用チラシなどを対象の全生徒に配る。 中学校の先生へ本校の教育内容を十分理解していただく。		
	体験入学・進路相談事業・親子相談会などの広報行事の充実	体験入学では積極的に各学科における体験型授業を取り入れ、生徒・保護者の本校理解を深める。 進路相談事業において生徒・保護者に良い印象が残る取り組み内容を考える。 親子相談会において生徒・保護者の疑問を解消し、本校理解が深まる様な取り組みとなるよう各学科の協力を仰ぐ。		
	上記以外の学校PR活動の推進	学校ホームページを更に充実させ、利用者が見たくなるようなページ作りを心がける。 旧年度、サイトの更新が行われていない各部・各科に日頃の教育活動を外部に発信していく。 各部活動の活動状況などもこまめに更新していくようにする。		
	分かる授業の推進・実践に取り組む	授業アンケートを実施し結果を授業改善に生かし、授業の充実・活性化を図る。 積極的な授業参観(含他教科)を促し、授業改善のヒント・助言の充実を図る。		
図書研修	職員の資質向上を図る職員研修会の実施	校内外での研修の告知と推進を図る。 生徒の実態に即し、時期に応じた効果ある研修を企画・立案・実施する。		
	図書の充実・図書館の利用向上及び図書委員会活動の活発化	生徒・教員の図書ニーズを把握し、蔵書の充実を図り利用向上を目指す。 図書館利用のマナーアップを図り、誰もが利用しやすい図書館をめざす。 委員会会議の定例化を図り、委員会活動の定着と周知に努める。		
	研究紀要の発行	寄稿の呼びかけを適時行い、内容の充実を図る。 発刊により成果を共有し、更なる自己研鑽に繋げる。		
	授業規律の確立と基礎学力の定着	教科担任会を通じ、各教科担任と学年による情報の共有を図る。 教室の清掃・整理整頓を徹底し、落ち着いた学習環境を整備する。 三者面談を活用し、家庭との共通認識を図る。		
第1学年	キャリア教育の充実と進路に対する意識の喚起	各学科と連携し、専門分野への興味・関心の喚起、資格・検定への積極的な取り組みを促す。 進路指導課と連携し、進路に対する意欲・関心を高める取り組みや、家庭への情報提供を充実させる。 家庭との連絡を密に行い、生徒に関する情報を共有し、遅刻・欠席を少なくする。		
	基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚	部活動への加入を促す。 学年集会等で学年所属教員による講話を実施し、学年全体で組織的に指導する体制を確立する。		
	基本的生活習慣の確立	挨拶・集合・服装等の指導を学年全体で協力し、日常的に行う。 遅刻・欠席を少なくし、生徒の動態を把握するために、家庭との連絡を密に行う。		
第2学年	基礎学力の定着と規範意識の高揚	定期考査に向けて、学年・教科・学科が連携し、組織的に指導する体制を整える。 修学旅行および事前指導を通じて、集団行動や時間厳守を徹底させ、自主性や規範意識を高める。		
	キャリア教育の充実と進路意識の高揚	各学科と連携し、専門分野への興味関心を高めるとともに、資格・検定を積極的に取得させる。 進路指導課と連携し、情報提供を充実させ、進路実現への取り組みを行う。		
	基本的生活習慣の確立	挨拶や服装等の指導を学年全体で協力し、日常的に行う。 保護者との連絡を密に取り、生徒の動態の把握に努める。		
第3学年	進路決定100%の実現	授業や学校行事等に意欲的に参加させ、全員の卒業を目指す。 学科や進路指導課と連携し、専門分野を中心に求人の確保に努める。 面談を丁寧に行い、生徒や保護者との共通認識のもと、希望に合う進路を決定させる。 希望進路実現のための基礎学力の定着を図る。		
	リーダーとしての資質の向上	体育祭等の学校行事において、最上級生として主体的に取り組む姿勢を培う。 生徒会・農業クラブ・部活動等で、リーダーとしての自覚を持たせ、責任ある行動がとれる生徒を育成する。 体育祭終了後や進路決定後も、3年生としてふさわしい態度で生活できる生徒を育成する。		

## 平成30年度 学校自己評価表 (計画段階・実施段階)

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
農務	授業内容の充実及び農業クラブ活動の活性化	知識、技術の向上を図るため、農業関連機関と連携し教科指導を推進する。 資格所得の合格率をあげるため、授業内容の充実を図り進路実現に繋げる。 農業クラブ活動の各種競技上位入賞を目指し、教科指導を徹底する。 学科主任会(週1回)及び農務全体会(各学期1回)の定例化。		
	各学科の連携及び販売所運営の推進	情報の公開、資料回覧を徹底し、共有化を図る。 販売所の運営において地域への情報発信、生徒による販売実習実践の場を推進する。		
	農業関連産業並びに関連機関との連携	職員研修の充実(農業関連研修の積極的な参加、報告会による職員への還元) 地域企業との連携(JA・改良普及センター等との情報交換)		
生物工学科	規律ある授業を展開し、学力の向上を図る	毎時間ノートを提出させることで授業に集中させる。 実験実習ノートの書き方の指導、文章の添削を行う。 生徒の学力に応じた教材を選ぶ。		
	専門知識と技能を身に付けさせるとともに、勤労観、職業観を育成する	プロジェクト学習の定着と社会人特別講師招聘事業の実施。 実験実習で準備から片付までができるよう指導する。 現場実習の実施。		
	挨拶、時間厳守、礼儀作法、掃除、頭髮・服装等の指導を全員で取り組む	始業での挨拶、服装指導、結髪を徹底。 実験実習室、更衣室の整理整頓。 適切な言葉使いの指導、そのつど注意。		
食品流通科	入学定員を確保するためのPR活動を充実させる	学校HPに食品流通科更新情報を年間教諭10回、実習助手5回行う。 学習活動を販売所で積極的に発信。学校案内、パネル等を常設する。 新商品を全職員が2年間で1商品発売。マスコミを活用し広報活動を行う。 各自が年1回マスコミを活用した広報活動を行う。 広報用の学科独自の中学校訪問資料の作成。		
	「学校のパン屋さん」を立ち上げ学科の柱となる活動に成長させる	週1回学校販売所で販売する。 学科の全職員が係わる取り組みとして立ち上げる。 本学科生徒が学習内容を自慢できる取り組みに育てる。 定期考査1週間前の欠点保持者の指導を継続して行う。		
	進路実現に向けた取り組みの充実及び資格取得の推進	朝5分学習の漢字テストを継続し、遅刻欠席の増加を防止する。 学科職員全員が行う3年生全員への面接指導を継続する。 受験する資格の合格者目標値を学科会議で検討・設定し実現する。 職員室・準備室等の入室マナーの指導を全職員で行う。		
	学校内でのマナー教育の充実	更衣室の整理・整頓 教室の学習環境を担任と連携し充実させる。		
環境緑地科	学習意欲の向上に努め、学力の定着を図る。	座学・実習を問わず記録時間を設定し、書く習慣を身に付けさせる。 進路実現に向けて早期の進路指導を推進する。 教員の資質と技術の向上に努める。		
	道徳モラルを育成し、基本的生活習慣の確立を図る。	挨拶、礼儀作法等、マナーアップ指導に努める。 施設の管理、使用等マナー指導を行う。 授業、実習等、安全面に常に注意を払う。		
	地域・企業との連携を図る。	校外実習(独居高齢者宅庭園管理、権並木管理等)でのボランティア精神の高揚に努める。 現場実習受け入れ先企業との連携強化を図る。 専門性を活かした進路開拓を行う。		
社会福祉科	基礎学力の向上と専門的知識・技術の習得のための専門的授業実践	協同学習を積極的に取り入れた専門教科の主体的・対話的で深い学び ICT(電子黒板・パワーポイントなど)を活用した授業の工夫 ワークシートの記入指導及び提出の徹底 介護技術コンテストの取り組みを通した専門教科の指導		
	基本的生活習慣の確立とともに自律心と思いやりのある生徒の育成	時間厳守、挨拶、服装、言葉遣い、礼儀作法など基本的生活習慣の確立 施設実習や地域高齢者交流、特別支援学校との交流を通した情操豊かな生徒の育成を図る教育実践 達成感のある学科行事等の取り組みを通した生徒の育成		
	希望進路100%実現を目指した具体的な取り組み	希望進路実現に向けた職場・進路先の開拓と進路指導の効果的取り組み 面接指導、小論文・作文指導等、進路指導の効果的取り組み 進路指導部、他分掌、担任、保護者との連携		
	介護福祉士資格全員取得に向け生徒の実態に合わせた効果的指導	介護福祉士国家試験の校内模擬試験、公開模擬試験の実施及び結果分析と活用 朝課外、放課後課外、夏期、冬期休業中課外の実施と指導の充実 成績不振者への個別指導(きめ細かく、丁寧な指導)の徹底		
食物調理科	食物調理科の専門性を活かした指導	生徒一人一人の適性を見極め、技術向上のための丁寧な個別指導を実施し、食のプロとしての環境美化・衛生管理に留意させる。 4年制大学合格のため専門分野の論文指導を早期から丁寧に行う。各学校の特色に合わせた面接指導、専門知識の伝達等を早期から指導する。就職先開拓については、希望の多い施設・業態の開拓に努力する。1・2年生には個人レベルでの目標を設定させ、自己実現のため取り組み内容を指導し、理解を深めさせる。(資格取得)		
	授業内容の再検討と充実	専門教科指導内容を常に刷新、研修を深め、授業に積極的に活用する。 校外実習を就職に活かすための課題を検討する。ホテル実習先からの評価表を見直し、事前指導の徹底(実習目的の再確認・挨拶の励行・服装や言葉遣い等品位の向上)に努める。 朝課外による資格取得全員合格(秘書検定・食生活アドバイザー)		
	他学科との連携	料理コンクール全国レベル入賞をめざして新しい知識と技術の習得、また地域との食イベントの連携 介護福祉士として必要な家庭生活の基礎基本の知識・技術取得をさせる。 農業科「家庭」で講義や実習を通して、望ましい家庭生活の確立を指導し、生きる力・確かな学力を充実させる。		
	現在求められている調理師としての目標設定・今後の学科長期目標	新教育課程と新調理師養成課程をよく理解し、時代や地域の要請に対応する新たな内容を検討する 電子黒板の積極的活用と工夫 情報の共有		